



2021年11月5日

各 位

会社名 太陽ホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 佐藤 英志  
 (コード番号 4626 東証一部)  
 問合せ先 執行役員経営企画室長 富岡 さやか  
 (TEL 03-5953-5200 (代表))

## 2022年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2021年11月5日開催の取締役会において、2021年8月2日に開示した、通期(2021年4月1日～2022年3月31日)の連結業績予想を修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 通期連結業績予想の修正について(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 ※
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	91,900	15,000	14,900	11,200	198.35
今回修正予想(B)	92,200	15,900	16,000	11,200	198.35
増減額(B-A)	300	900	1,100	-	
増減率(%)	0.3	6.0	7.4	-	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期通期)	80,991	13,943	13,819	9,529	167.49

※当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

## 2. 修正の理由

電子機器用部材事業については、2022年3月第2四半期の業績においても引き続き、車載関連部材、民生用関連部材、スマートフォン関連部材、半導体パッケージ基板用部材が好調に推移しました。特に、半導体パッケージ基板用部材ではPCやサーバー用の半導体メモリー向け製品や、モバイル端末用のアプリケーションプロセッサ向け製品等の需要が想定を上回りました。

医療・医薬品事業については、2022年3月第2四半期の業績において、新型コロナウイルス感染症の影響で、一部製品の売上高が減少したものの、プロダクトミックスの変化、販売費及び一般管理費の下振れ等により、営業利益においては好調に推移しました。

売上高、営業利益、及び経常利益において、2021年8月2日に開示した通期連結業績予想から、2022年3月期下期業績予想は2021年8月2日に開示した業績予想を据え置き、2022年3月期上期は実績値に更新し、2021年8月2日に開示した通期連結業績予想を上回る見込みとなりました。

## 3. 配当予想について

期末配当予想につきまして、2021年8月2日に公表した内容から変更はありません。

※業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上